

2014年3月20日  
株式会社日立製作所

## 鉄道システム事業のグローバル事業拡大に向けて経営体制を強化

グローバル戦略を統括するグローバル CEO を新設

株式会社日立製作所(執行役社長:中西宏明/以下、日立)は、このたび、鉄道システム事業におけるグローバル事業の拡大に向けた経営体制の強化を目的に、2014年4月1日付でグローバル CEO\*1を新設します。具体的には、グローバル CEOのもと、グローバル COO\*2、グローバル CSO\*3などを置き、鉄道システム事業におけるグローバル戦略を統括、強力に企画、推進し、事業拡大をめざします。

鉄道システム市場は、CO<sub>2</sub>排出量の少ない、安全で効率的な輸送機関として、世界の多くの地域で新規建設や延伸、車両・システムの改良による高速化などの動きが活発化しています。市場規模は2009年から2011年が平均18兆円、2015年から2017年が平均20兆円で、今後の年平均成長率が2.6%と、着実に伸張することが予測されています\*4。

こうした中、社会イノベーション事業の中核事業の一つである日立の鉄道システム事業は、車両システム事業と輸送システム事業を有する国内唯一の鉄道トータルシステムインテグレーターとして、日本、そして世界の鉄道のインフラ発展に貢献してきました。近年では、英国の都市間高速鉄道計画(IEP: Intercity Express Programme)やベトナムのホーチミン市都市鉄道建設事業向け設備一式の受注をはじめ、成長戦略の一つとしてグローバル展開を加速させています。

今回日立は、鉄道システム事業のグローバル化をさらに加速させるため、グローバル CEO を新設します。日立では、これまで以上に日本の政府やお客様との関係強化を図ることに加えて、グローバル CEO がグローバル COO、グローバル CSO など幹部と一丸となって、全世界に広がる鉄道関係人脈やお客様、パートナーとの連携を強化し、各地域において計画されている鉄道プロジェクトに対して積極的な受注活動を行うことで、事業拡大を進めていきます。

グローバル CEO には、2014年4月1日付で日立製作所の理事に就任する日立レールヨーロッパ取締役会長兼 CEO の Alistair Dormer が、グローバル COO には交通システム社社長に就任し、引き続き日本市場を統括する正井健太郎が、グローバル CSO には交通システム社 CSO の光富眞哉がそれぞれ就任し、日立の鉄道システム事業を強力に推進していきます。

## ■ 幹部コメント

### グローバル CEO Alistair Dormer

今回の日立の鉄道システム事業における経営体制の強化は、グローバルに成長を加速していくための絶好のチャンスです。日立には、すばらしい技術革新の歴史が受け継がれており、これまでも広範囲にわたり製品、サービス、ソリューションを世界各地に提供してきました。鉄道のグローバル市場は伸長しており、日立にはこの成長市場の需要に対応する能力があります。日立はこれからもお客様に対して、エクセレントなサービスを提供していくとともに、新たな市場と拡大の機会の追求も継続していきます。

### グローバル COO 正井 健太郎

日立がこれまで日本を中心として築いてきた高度な鉄道システム技術を活かし、さらに海外事業を通じて培ってきたネットワークとの連携をさらに強化して、成長が期待されるグローバル事業を積極的に推進していきます。また同時に、国内事業基盤の強化、新事業の推進を着実に進めることで、鉄道システム事業の拡大を図ります。グローバル CEO をはじめ幹部と協力しながら、日立の鉄道システム事業を世界の競合に伍する企業に成長させていきます。

\*1 CEO : Chief Executive Officer

\*2 COO : Chief Operating Officer

\*3 CSO : Chief Strategy Officer

\*4 出典: 欧州鉄道産業連合(UNIFE) レポート 2012

以 上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---